



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

2021~2022年度RIテーマ

R.I.会長
シェカール・メータ

RI第2620地区ガバナー
小林 聡一郎

2021~2022

NO.5

事務所 沼津市八幡町15
〒410-0881 ビレッジ35 303号
☎(055) 963-0515 ①963-5202
例会会場 沼津市上土町100番地1
〒410-0802 沼津リバーサイドホテル
☎(055) 952-2411 ①952-2455
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
会長 實石学
幹事 大友保志
会報委員長 望月美樹

再生紙を使用しております。

第3351回例会

2021.10.29

会長挨拶

会長 實石学

皆さん今日は本日もごゆっくりお過ごしくださいませ。

今日は、2017年にロータリー財団の100周年を記念して始まった「未来の夢計画」の新しい財団の補助金システムの中の「地区補助金」を活用した事業の贈呈式を行いたいと思います。今年度の事業は就労継続支援事業を行う社会福祉法人「共生会」様への医療機器の寄贈事業であります。共生会様は長年沼津において精神障害者を対象に生活困窮や将来的に就労を希望している方への手助けを行っています。今回この事業所へ健康管理や病状判断を支援する目的で補助金を活用させていただきました。後ほど共生会様にも卓話をいただきますのでよろしくお願いたします。

ロータリー財団の補助金は地区補助金とグローバル補助金の2つがあります。地区補助金は地区やクラブが計画したプロジェクトを支援するもので、地域社会や海外でも利用することができます。これは単年度事業で、新年度開始前までに申請をし、年度内に終了・報告書を提出しなければなりません。補助は総事業費の半額までという金額の上限があります。また補助金には、3年前の年次寄付と、恒久基金の前年度の運用収益の25%が充てられます。我がクラブも毎年活用をさせていただいております。もう1つのグローバル補助金は海外の地区やクラブと提携して、別に定める特定分野のプロジェクトに限って支援するもので、比較的大規模なプロジェクトが対象になります。対象となる事業のニーズは日本国内ではあまりなく、主に外国への援助が中心となります。地区補助金もグローバル補助金も必ず利用できる補助金なので無駄なく最大限有効活用していきたいと考えておりますので、会員の皆様よろしくお願いたします。また、今年度来年度と奨学生のマドマンさんもいらっしゃるののでよく話をさせていただき可能なことがあれば利用したいと思っておりますので、あわせてよろしくお願いたします。

ゲスト 中村 芙美子様(社会福祉法人共生会)

米山奨学生 マドマン・ソピダ君

出席報告

欠席者(12名)

今田君、楠木君、三好君、望月君、
森藤君、村上君、野際君、大石(顕)君、
向坂君、清君、杉山君、寺田君

会員総数	44名
出席計算に用いた会員数	42名
出席計算に用いた出席数	32名
出席率	76.19%
前々回の修正出席率	100%

プログラム

11月12日(金)

外部卓話

「元気に暮らす人生100年時代~フレイル予防の食事」

中北薬品(株)三島支店 木下 彩花様

.....
会員誕生日 渡辺 芳彦君

結婚記念日 大友 保志君

11月19日(金)

第2回クラブ協議会



R財団補助金事業 贈呈式



贈呈式 卓話

社会福祉法人共生会
就労継続支援B型きさらぎ
サービス管理責任者

中村 美美子様

パラリンピックが盛り上がりましたが、福祉と聞きどんなイメージを持たれていますか？ 私にとっての福祉の原点は、アメリカへ行った時に見たものでした。バス停で毎日同じように落ち着かない様子でランチボックスを両手で持ち何かを口ずさみながらバスを待っている男性を何度も見かけたことでした。昔の映画「フォレストガンプ」に出てきた彼と同じかも…と。

忙しく手を動かし、何やら楽し気に手話で会話をしている学生。大きなサングラスかけて盲導犬を連れている方も見ました。障害者が多いのか？ と錯覚する程の頻度で見かけ、驚いたのはテレビの中だけと思っていた「五体不満足」の乙武洋匡さんのように両手両足のない方が車いすで移動し、同じバスの車いすスペースで一人で乗車してきたのを見た時でした。派手な大きな帽子をかぶりニコニコと嬉しそうにしている方もいました。

発達障害、視覚障害、身体障害、知的障害…肌の色も目の色も話す言葉も違う色々な人種が入り混じって生活する世界では、普通に生活していて、障害も一つの個性のように見えました。福祉も特別なことではない…と感じました。まだ学生の若かった頃の話です。

その後、縁があり共生会で働き始めました。この施設は今年で作業所の頃から数え 38年の歴史があり、始めは精神障害者の支援をと立ち上がった施設となります。

精神障害…今まで私が知り得なかった障害で、統合失調症や高次脳機能障害、躁鬱病などがあるのですが、皆自分と何も変わらない見た目をしていました。今まで気が付かなかったのかもしれない…とも思いました。そんな方々と長い期間向き合ってきた施設には何か魅力があ

るのだらうと興味が沸いたのを覚えています。

精神障害者とはどんな人たちだと思いますか？ というと、ある方は有名大学を卒業した経歴の方もいれば、結婚していた方、ディズニーのダンサーでキャストとして働いていた方などもいました。すごい人だ…と尊敬しつつ、話をすると優しい方が多く、何かがきっかけで病気を発症し、入院し、沢山の薬を長期に渡り飲み続けることとなったようで、実は誰しもがなり得る病気で、見た目にはわかりづらい障害の一種であると理解しました。

…とは言ってもここでは一緒に働く共生会の仲間です。法人で170名の利用者がいます。また、沼津の石川地域にあるきさらぎにはそのうちの54名おり、18歳～上は84歳で作業を中心とした活動をしています。そんな利用者象徴した歌が共生会にはあります。

歌詞に、

「一生懸命笑って、一生懸命泣いて、一生懸命生きている、それが素晴らしい。」

「一人ではわからなかった、絆とか思いやりとか、みんなが僕にくれた物、抱きしめて前に進もう」

真剣に一生懸命自分と向き合い、自己の生活を見つめている、まさにそんな方たちです。

私の仕事としては、そんな方たちと一緒に歩いていくこと、寄り添うこと、また「働くこと」を提供しています。どこかで聞いた話に、「人間の究極の幸せ」とは4つあり、愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること…ほとんどは働くことで手に入れることができるということです。皆で働き喜び、話を聞き、不安や悩みはあるけれど、誰かがそこにいる、自分の近くにいる、安心して一緒に頑張れる…そんな毎日です。大変なことも沢山あり向きあっているのですが、どうにもならないのが老いであり、高齢化が進んでいます。日常強い薬を飲んでいる人も多い精神障害者の身体は、実年齢よりも10歳～15歳衰えているとも言われています。この度、血圧計とパルスオキシメーターをご寄付いただきました。少しでも長く充実した時間を提供できるために、また私が海外で見た普通の福祉が来る日を楽しみに、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



ロータリーの標語 超我の奉仕

理事会だより

◆第5回定例理事会

2021.10.29(金) 13:45～ 出席者14名

【報告事項】

1. 「千本をよくする会」道具置き場許可申請の件
⇒例年通り沼津市役所緑地公園課へ提出
2. エンドポリオ募金箱設置の件
⇒合同街頭募金活動が中止だったため、代替としてクラブのエンドポリオ活動とした ⇒40,000円(10/22例会終了時)、43,000円(10/29例会終了時)
3. 米山学友プロジェクト支援募金の件 ⇒27,000円(10/22例会終了時)、30,000円(10/29例会終了時)
4. 11/19(金)第2回クラブ協議会の件
⇒30分延長なし・壇上発表者は常任委員長のみとする
⇒小委員長原稿取りまとめは、各常任委員長・小委員長間でやり取りをお願いします

【議事】

1. 11月例会プログラムの件 承認

11月12日	外部卓話「元気に暮らす人生100年時代 ～フレイル予防の食事」 中北薬品(株)三島支店 木下 彩花様
11月19日	第2回クラブ協議会
11月26日	米山奨学生近況報告 米山奨学生 マドマン・ソビダ君
12月3日	年次総会・次年度理事次々年度会長候補 指名、団欒例会

2. 会員候補者海野公彦君の件 承認 ⇒11/10(水)
R情報オリエンテーション実施 ⇒11/12(金)入会式
⇒所属:(委員会=出席、緊急連絡=C-3、増強=4組、テーブル=D(同、渡辺芳君)) ⇒安信運輸後任社長、前任社長伊藤さんの後任のため、クラブ入会金は無し ⇒實石会長:伊藤さんから直接連絡をいただきました

3. 細則改正の件 承認

⇒クラブ定款第11条第7節(c)「公共イメージ」となっている 変更前→理事および役員 変更後→理事および役員および委員会 第7節-委員会 (a)クラブ管理運営 (b)会員増強 (c)公共イメージ (d)ロータリー財団、および (e)奉仕プロジェクト ⇒クラブ細則第9条「広報委員会」→「公共イメージ委員会」に改正 ⇒大友幹事:RIの規定に則り、我々の細則を合わせていくということです 12/3(金)の年次総会に盛り込むために、11/12(金)にポストインにて配布

4. 12/17(金)例会の件 承認

⇒大友幹事:恒例の忘年家族会の件です ⇒實石会長:忘年家族会の件ですが、大熊委員長、大友幹事と打ち合わせしましたが、まだ先が見えない中、一応、開催の方向で動き、状況の変化などがあるため、基本的に会長幹事に一任していただきたい。プレゼントなどの寄付金は毎年高額になっているので、3,000円程度にし開催されなかった場合には、スマイルや施設等への寄付にするなど、状況の変化に応じて動いていくので(その他、家族呼ばず、夜間例会にする、アルコールを無しにするなど...) その都度お知らせします ⇒渡邊(雅):寄付は集めなくても良いのでは。クラブの予算で ⇒細澤:一任で良いと思います、寄付はい

つの間にか段々高額になりいつの間にか1万円が普通になってしまいました 實石会長:予算の中でやってきたものが、会長がいくらですか? などによって変わっていましたが、基本的には予算の中でやればよいと思っています。渡邊洋:円卓になりますか? 實石会長:11/12(金)の例会より円卓にする予定で、ロータリーソングも歌うなど、通常に戻る予定です 渡邊洋:その際のテーブル上のパーテーションはどうされますか? 山梨の実証実験をテレビで観て富士吉田RCが円卓でパーテーションが立っていて普通に行っていた。大友幹事:ホテル側に確認し、アクリル板を例会に持参してくれることになっていましたが、来てないので、また確認しておきます。實石会長:11/12(金)の例会でそのパーテーションが使えれば、そこから忘年家族会もそれを使用し開催したい。

5. 当クラブ休会時のサインMUの件 承認

⇒大友幹事:移動例会の際に通常例会場にMUに来た方がないというのと、祝日休会の際のMU、沼津RCさん毎週金曜日なので、やっているよね、と来た方への対応、クラブによる判断がありそうなので皆さんの意見を伺いながら統一したい 實石会長:沼津RCが祝日休会の時にMU受付を置くか置かないか、今までが曖昧でした 細澤:地区のHPに休会が記載されているのであれば、出す必要ないと思います 山口:基本は休会の場合出さない 渡邊洋:例会変更の内容にMU有り無しを何処かに表記してあれば不要では? 實石会長:休会の際にはMU受付を絶対出さないということをここで決めたい 大友幹事:休会の際にはMU受付を出さない、移動例会の際に通常例会場にMU受付を出すという形で良さそうですか? 鈴木事務局:夜間例会の時に、通常例会の時間帯にMU受付を出すということが良いですか? 實石会長:沼津RCが例会を行っているときは出す、やっていないときは出さないということで 渡邊雅:以前は100%出席が当たり前で、休みの時には出席委員が会場で受付をやっていた時代もあった 鈴木事務局:早速ですが、来週はMU無しで良いですかね? 實石会長:コロナ中にあいまいな所があったので、ここで正式に確認しようと思いました

6. 今後の例会開催可否について 承認

⇒大友幹事:4. と重複することが多いのですが、コロナ過で急遽例会を中止などの判断を間髪入れず行なわなければならないのと、円卓をスクール形式になどの判断を、会長一任でお願いしたいです 山口:SA Aの意見も聞いた方が良いのでは 渡邊洋:会長、副会長、奉仕プロジェクトの常任委員長とSA Aでやるべきところで、それ以外の理事に委任していただくというイメージが良いのかと思います 山口:会長の事なので皆に相談しながら進めると思うので大丈夫かと 實石会長:そのやり方が、電話で良いのか、書面にするのか、郵送して返信もらうのかなどありますので、一応、決定は皆さんと一緒にやりますが、相談の手続きは柔軟くしてもらえればと思います

7. その他

⇒山口:70周年の式典について、たたき台を作成し、この2週間で実行委員の方々には見ていただいて確認していただくようにしています 基本的には3/5(土)11:00～食事 12:00～例会と式典 懇親会は無し 年内に招待状など発送します

第1回クラブ協議会③

財団プロジェクト リーダー 渡邊洋二郎

財団プロジェクト委員会は、R財団委員会と米山委員会の2つの小委員会からなっており、小委員会はそれぞれのプロパーの活動に、小委員長のもと積極的に取り組んでいるところであります。

財団プロジェクトの活動に関しましては例年、地区目標に掲げられ、今年度も①R財団への寄付と補助金の積極的活用②R米山記念奨学会への理解と支援が地区目標に掲げられ、当クラブにおいては(1)地区補助金の活用(2)20年ぶりに当クラブが米山奨学生の世話クラブとなりましたので、奨学生であるマドマン・ソピダさんへのクラブをあげての支援(3)会員の皆様へご寄付のお願い(R財団年次寄付1人150ドル以上、ポリオ撲滅の寄付1人30ドル、米山記念奨学会への寄付1人16,000円以上)などの活動を行っていく予定です。会員の皆様のご協力をお願いする次第です。1年間どうぞよろしくお願い致します。

R財団 Rの目的を推進する信託機関であるR財団は寄付金のみで支えられており、寄付金の90%以上がRの奉仕プロジェクトに活かされています。今年度地区方針も「R財団の活用と寄付増進」「財団への寄付(年次寄付一人\$150)」「ベネファクター各クラブ1名以上」とあり、更に地区財団活動資金(地区補助金50%、グローバル補助金50%)の積極的活用を呼び掛けています。今年度の地区補助金は「社会福祉法人共生会」への医療機器の寄贈を計画しています。しかし、予算\$30,000以上の活動が対象であり、活動が実施される国にパートナーが必要などの条件があるグローバル補助金は直ちにできるプロジェクトではありません。せっかくの財源を無駄にすることなく、今後のクラブの活性化や国際化を見据えて、グローバル補助金を有効活用できないか、皆さんと共に検討していきたいと思っております。

米山 国際奨学事業の一つ米山記念奨学会は1952年米山梅吉氏の遺徳を記念するため、東京RCにより『米山基金』が設立され、RI認証を受け国内の全R地区合同事業に発展したものです。

事業は ①寄付金 ②世話RC ③カウンセラーからなり、財源は普通と特別寄付合計一人当たり16,000円。今年度は世話RCの任とそのカウンセラーを大村さんが

引き受けてくださり、クラブ挙げての重要年度になります。奨学生数は20年まで21,624人、今年度890人予定され、総数22,000人を超え、出身国は世界129の国と地域に及び、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。奨学生がR活動や日本の社会に触れ溶け込み、生活や学業面等の良き相談相手として精神面から支えられるようご協力ください。

元奨学生で在日している方々と現役奨学生が中心になり交流を深め合う『学友会』も年々活発になり、RC設立や会員として平和と国際理解推進に活躍されています。在日留学生の誇りであり、魅力あるこの制度にご支援ください。

クラブ研修リーダー 渡邊 雅昭

クラブ研修リーダーに課された役割は、個々のロータリアンの自主性を高めて、クラブ活性化のためのきっかけ作りを推進し、クラブ研修を充実させ、年次目標の達成を支援し、中長期的な視野で会員の指導力開発を推進するものである。

今年も、

1. クラブ目標を分析し、成果を評価する。
2. 新会員研修の実施を推進する。
3. R情報提供の機会を設ける。
4. ガバナー事務所からの情報を広報する。
5. 現・次会長および会長予定者との懇談の場を設けクラブの中長期的な計画を立てる。

ロータリーに対する考え方も徐々に変化しており、それらに対応した運営を推進することが必要であると思う。

コロナ禍の中で、どこまで事業推進ができるか不安もあるが、可能な限り目標達成のために努力したい。

S・A・A 塚本 和弘

まだまだ、収束が見えないコロナ禍の例会において、感染防止対策に細心の注意を払いつつ、会長、幹事、親睦委員会、出席委員会、プログラム委員長と密接な連携を取り、また規律を守り、有意義な例会になるように円滑に進めることを目標とします。

今までとは違う環境の中、例会の形態、進行方法も臨機応変に対応できるよう、会員の皆様方のご協力の下、副S・A・Aと共に1年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

2. 米山梅吉記念館賛助会員募集のお願い

⇒先週に引き続き、賛助会費¥3,000のご納入袋を受付に設置しております。ご協力をお願いします

3. エンドポリオ募金・米山学友会プロジェクト支援募金ご協力のお願い

⇒先週に引き続き、ドネーションBOXを受付に設置しております。ご協力をお願いします

4. 10/22例会で親睦受付にて所有者不明の1万円がございました⇒お心当たりのある方は親睦委員へお申し出ください⇒お申し出のない場合はスマイルとさせていただきます

スマイル・ボックス

東君…先週の妻の誕生日お祝いありがとうございました。

實石君…共生会様、本日はありがとうございました。

これからもよろしくお願いいたします。

高地君…妻の誕生日と結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。

野口君…誕生日のお祝いありがとうございます。

大石(昭)君…①共生会の中村様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。デビュー戦を飾ってください。②誕生日のお祝いありがとうございます。

渡辺(芳)君…結婚祝い、ありがとうございます。10/12～22まで秋田の山に熊に会いに行ってきました。